

台風や大雨による災害から身を守るために



【問合わせ】防災安全課 ☎ 84-0626

「防災気象情報」を活用し、台風や大雨への備えを

気象庁は、警報や注意報に先立ち、早期注意情報や、台風や大雨に関する気象情報を発表しています。時間を追って段階的に発表される「防災気象情報」を活用し、早め早めの防災行動をとるようにしましょう。

5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象状況	気象庁等の情報			市町村の対応	住民が取るべき行動	警戒レベル
数十年に一度の大雨	大雨特別警報	キキクル 災害切迫	氾濫発生情報	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
〜〈警戒レベル4までに必ず避難！〉〜						
大雨の数時間〜2時間程度前	土砂災害警戒情報 高潮警報 高潮特別警報	危険	氾濫危険情報	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
大雨の半日〜数時間前	※1 大雨警報 洪水警報 大雨警報に切り替える可能性が高い注意報 高潮警報に切り替える可能性が高い注意報 高潮注意報	警戒	氾濫警戒情報	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
大雨の数日〜約1日前	大雨注意報 洪水注意報 早期注意情報(警報級の可能性)	注意	氾濫注意情報	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
				・心構えを一段高める ・職員との連絡体制を確認	災害への心構えを高める	1

※1 夜間〜翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

「防災気象情報」の情報収集方法について

情報収集はテレビやラジオ、インターネットなど複数の手段を使ってください。市でも市ホームページや防災行政無線(屋外スピーカー)、広報車、ツイッター、緊急速報メールなど複数の手段を用いて情報発信しています。

防災行政無線放送(屋外スピーカー)

防災行政無線による放送は場所によって聞こえづらいことがあります。直前に放送した内容は、聞き直しダイヤル(21-1155)で確認できます。

テレビ(データ放送)

市における警報・注意報、避難所開設情報、避難情報等をデータ放送で見ることができます。※機種によってボタンの位置・表示が異なりますので、詳しくは取扱説明書をご確認ください。

その他の情報収集方法



▲市ホームページ



▲防災・災害情報(ツイッター)



▲学校メルマガ



▲気象庁ホームページ



▲キキクル



▲市公式 LINE

リモコンのdボタン



「避難情報」が発令された場合の対応について

避難情報とは、台風や大雨による災害が発生する危険性が高まった時に、市の災害対策本部から発令される高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保の総称です。避難情報が発令されたら、ホームページ等で最新の避難所開設情報を確認し、最寄りの開設されている避難所や、安全な知人宅に避難する等、速やかに適切な行動をとりましょう。

半田市役所は避難所ではありませんのでご注意ください。